

複合新庁舎建設事業のこれまでの主な経過

1 計画策定と情報発信（平成 30 年度）

- 8 月 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画を策定
- 9 月 広報あいら AIRAview 号外リーフレット『新庁舎をつくる』全戸配布
- 10 月 出前講座・おでばい説明会を随時実施
- 11 月 複合新庁舎建設に向けて子どもたちが描く庁舎絵画コンクール表彰式及びパネルトーク



図：リーフレット「新庁舎をつくる」



写真：絵画コンクールパネルトーク

2 設計業務等委託事業者の選定（平成 30 年度～令和元年度）

(1) オフィス環境整備支援業務

市民サービスと事務効率双方の向上に資する目的で、利用者である住民や職員の使い方、働き方に基づいたオフィス環境整備（窓口や執務室、待合い空間などの備品計画）について豊富な実績、専門的な知見を有する事業者を選定し、業務を進めています。

選定方式	公募型プロポーザル方式
受託業者	株式会社オカムラ鹿児島支店
業務期間	平成 31 年 4 月～令和 5 年 7 月
業務概要	① 調査・分析……文書量や備品、レイアウトなどの現状把握 ② サイン計画……来庁者が直感的に理解できるサイン(案内表示)計画を立案 ③ レイアウトプランの作成……効率的で無駄がなく、来庁者にも職員にも使いやすい備品配置を計画 ④ 移転計画……仮移転や本移転などの移転計画をサポート ⑤ 備品整備計画……既存備品を有効活用するための計画

(2) 基本設計・実施設計業務

始良市複合新庁舎建設設計業務委託事業者選定委員会（委員計8人、うち学識経験者等6人）の審議により、柔軟かつ高度な発想力・設計能力、豊富な経験や確かな技術力等を有する設計者を選定し、基本設計を進めています。

選定は、公募型プロポーザル方式を採用するとともに、第2次審査の一部（プレゼンテーション及びヒアリング審査）を一般公開し、公平性、透明性、客観性を確保しました。

選定方式	公募型プロポーザル方式
受託業者	山下設計・永園設計・ゲンプラン設計業務委託共同企業体
業務期間	令和元年6月から令和3年5月
業務概要	① 基本設計……基本計画に示される設計条件や施主の要望等を整理し、建物の配置や構造、各階の基本的な平面計画、備えるべき機能や設備などを設計。また、法規制やコスト条件（概算費用）を整理する。 ② 実施設計……基本設計に基づき、工事施工を考慮したうえでデザインや技術面の両面にわたり詳細に設計。工事施工に向けた具体的な積算も実施する。



写真：第2次審査
公開プレゼンテーション・ヒアリング
傍聴者：約50人

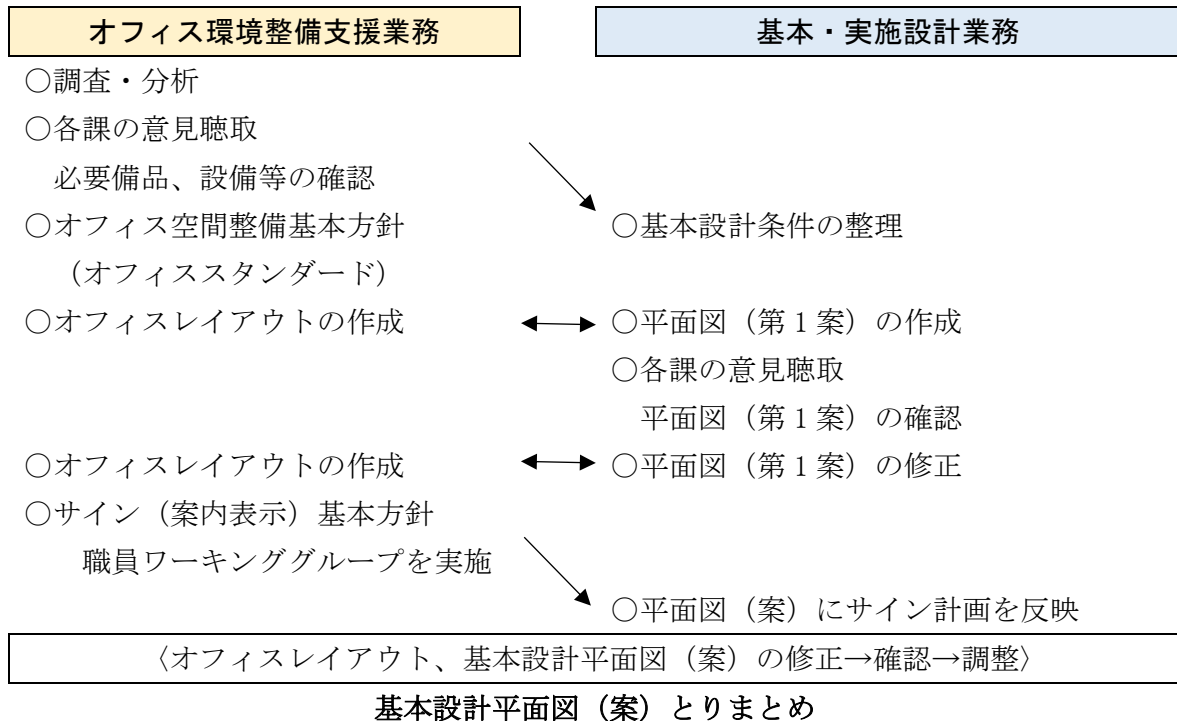
(3) 地質調査業務

本庁舎の建設敷地の地盤状況を調査し、建物の基礎工法（杭など）を検討する目的で実施しています。

選定方式	指名競争入札方式
受託業者	株式会社 ホウセイ・技研 始良支店
業務期間	令和元年12月から令和2年3月
業務概要	① ボーリング調査 ② 地震波解析調査

3 本庁舎設計業務等の進捗状況

オフィス環境整備支援業務と基本・実施設計業務につきましては、下図のとおり協働体制により進めています。現在、基本設計（案）のとりまとめに向けた調整作業を行っており、令和2年4月を目途にパブリックコメントを実施する予定です。



3 今後のスケジュール

本庁舎建設事業のスケジュールは、下図のとおりです。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本庁舎 基本設計		4月：パブリックコメント 5月末：基本設計完成			
実施設計			5月末：実施設計終了		
仮移転 (仮庁舎業務)			11月移転開始		
解体工事					
建設工事					供用開始